

総集編をお届けするに当たって

代表取締役社長
甲斐 邦朗



日ごろより東洋電機製品をご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。平成 11 年度の「総集編」をお届けするに当たり一言ご挨拶申し上げます。

新しい千年紀を迎えた我が国経済は 2000 年 3 月期から始まる新企業会計制度に象徴されるアメリカ主導とも言えるグローバル化の大きな波の中でダイナミックな事業構造の変革と世界的大競争のまっただ中に置かれています。この激動の中、当社においても工場再編成や不採算事業の圧縮など事業構造の再編を強力に推進し、経営基盤の確立を図ってまいりました。このような情勢の中にもかかわらず、新技術・新製品開発の面では近年にない活発な活動を展開することができました。

交通部門においては、引き続き国内鉄道事業者向けに多数の車両用電機品を開発、納入させていただきましたが、その中で「ハイブリッドベクトル制御方式」という名称で電気車の低コスト、高粘着運転を可能にした新技術は、たくさんのお客様から次世代の車両制御システムとして大きな期待を得ています。また国外においては、当社の最新技術を採用した車両が中国・北京市地下鉄、アルゼンチン・ブエノスアイレス地下鉄やパナマ運河・曳船用機関車でそれぞれ運行を開始しましたが、その高い性能と品質により、お客様から改めて当社の技術に対して高い評価をいただきました。

産業部門においては、当社の基幹技術の一つであるモータの可変速ドライブ技術分野において、数多くの開発成果を挙げることができました。まずベクトル制御 VVVF インバータ分野でインテリジェントインバータ「VF64 シリーズ」を開発し、より高性能・高機能の誘導電動機ドライブシステムを提供できるようになりました。

また、ベクトル制御 VVVF インバータ制御技術に永久磁石電動機を組み合わせた「ED モータ」を開発しリリースいたしました。これは、一部顧客に既に採用され次世代のモータドライブ技術として多くの期待が持たれます。更にベクトル制御 VVVF インバータ制御技術と低慣性誘導電動機を組み合わせ、「超低慣性ダイナモメータ」を商品化しトヨタ自動車殿でご採用いただきました。エンジンと等価の低慣性を電動機で可能としたことにより、試作エンジンの開発期間短縮に大きく貢献いたしました。このことが評価され平成 11 年度のトヨタ技術開発賞を受賞しました。またエンジンの代替機としてパワートレーン系試験にも採用され、次世代の車両開発分野における効率化の手段として大いに期待されています。

部門のもう一つの柱である環境事業部門においては、従来の上下水道給排水システム製品のほかに、水だけによる洗浄装置を新たに販売品目に加え「環境に優しい洗浄装置」として車両保守工場や自動車部品製造ライン向けに新製品を多数納入いたしました。

そして今、当社は新しい世紀に向けてその体制を整えつつありますが、これからは既存の事業を基盤に、マーケットを良く見据え、戦う事業領域を明確に設定しつつ、さまざまな成長機会を積極的にとらえ、ダイナミックに変化する市場に対応していく所存であります。皆様の一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。